

コロナ禍で注目が集まるゲノム技術 ～ゲノム解析が感染症対策の基幹技術に！？～

新型コロナウイルス(以下、新型ウイルス)の世界全体の累計感染者数は、9月1日時点で2,500万人を超えるまでに拡大するなど、依然、収束の目途が立っていません。こうした中、近年、コストの低下やスピード・効率の向上などの技術革新が急速に進んだゲノム解析技術を新型ウイルスの分析や、感染拡大の抑止に役立てる取り組みが進んでいます。

ウイルスは、増殖する際に遺伝子に変異が生じることがあります。インフルエンザウイルスのワクチン接種が毎年のように必要になるのは、従来の抗体が変異したウイルスには機能しないことなどが原因のひとつです。今回の新型ウイルスは急速に増殖を繰り返すため、遺伝子の変異が半月に1回程度起きているとされ、変異したウイルスの分析および迅速なワクチン開発において、機動的なゲノム解析の重要性が高まっています。

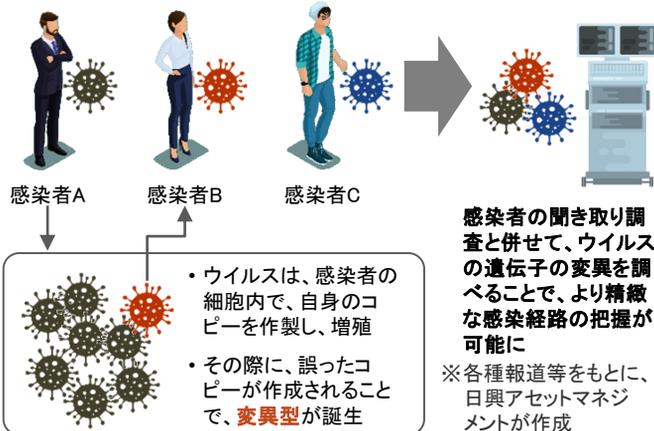
また、ゲノム解析は、新型ウイルスの感染経路の追跡や感染拡大の抑止に向けた対策立案にも力を発揮しています。米レッド・ハッチンソンがん研究センターがウイルスの遺伝子変異などの情報をもとに感染経路を追跡した結果、感染が拡大した経緯や感染者が無自覚のうちにウイルスを広めうることが判明、この発見に基づき、感染拡大を遅らせるため、都市封鎖や一定の社会的距離を保つといった対策が世界各国で打ち出されました。

こうした感染症対策における有効性から、ゲノム解析機器・サービスへの需要は世界中で高まっています。ゲノム解析機器世界大手の米イルミナは、同社の解析機器が米国食品医薬品局(FDA)の緊急使用許可*を取得したことを発表しました。また、世界各国でゲノム解析サービスを手掛ける中国BGIゲノミクスは、新型ウイルス感染拡大に伴う需要の増加により、2020年上半期の純利益が前年同期比で700%を超える増加となりました。このように、長引くコロナ禍の中、関連企業の今後の成長に注目が集まっています。

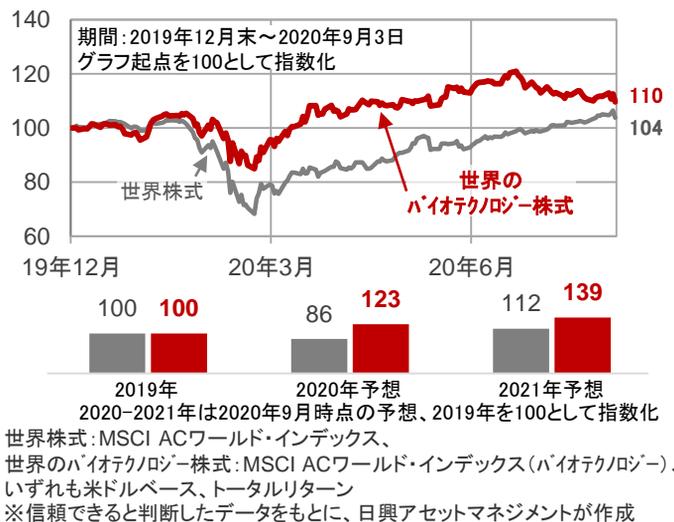
* FDAが緊急時に未承認薬や医療機器などの使用を許可する制度

ウイルスの分析や感染経路の追跡に活用される ゲノム解析技術

＜ウイルスの変異と感染経路追跡のイメージ＞



【ご参考】世界株式とバイオテクノロジー株式の株価推移(上)とEPS(1株当たり利益)の推移(下)



※記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものではありません。

また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。

※上記は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について弊社が保証するものではありません。

※上記は過去のものおよび予想であり、将来を約束するものではありません。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。